

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月2日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	広島市役所	代表者名	広島市長 松井 一貴
担当者部署	企画総務局	連絡先電話番号	082-504-2012
担当者役職	主事	担当者氏名	山本 昇一
		連絡先E-mail	
住所	730-8586 広島県広島市中区国泰寺町1丁目6-34		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	普通の業務でデータを取り扱わない職員もいる中、全員が理解できるよう、具体的な事例を紹介されながら、データ活用の重要性をお話しいただき、職員の意識改革やデータに関する理解促進に資する研修を行うことができたため。また、Slidoを通じて、気軽に質問できたことで、より一層理解が深まったのではないかと思います。
アドバイザーへの要望事項	分かりやすい講演、ありがとうございました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年8月30日	講演	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時45分	12時10分	0
				活動時間（分）	145

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	広島広域都市圏構成市町の職員	100人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当課では、統計情報は政策形成・事業推進の根幹を成すものであり、政策を企画立案し、事業の実施結果を評価・分析して必要に応じて改善につなげる上で、各種統計情報を活用・分析することは非常に重要であると考えている。また、今後さらに統計情報を有効活用するためには、適切、迅速に統計データを分析することができる職員の育成が一層重要になると認識しており、平成30年度から、効果的な政策立案や事業推進に必要とされる統計データを用いた現状分析や効果検証に関する知識を習得できるよう、アンケート調査等の実施に必要となる考え方や、調査結果を用いたデータの分析手法効果的な政策立案や事業推進に必要とされる統計データを用いた現状分析や効果検証に関する知識を習得し、統計データを適切に有効活用できる職員を育成し、各事業に活用する。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	職員のデータ利活用を促進するような、データ分析の考え方・基礎等に関する以下の内容の研修を実施。 ・データ分析の概要・概念的説明、データリテラシーの説明 ・各種統計分析手法（各種統計量、回帰分析、相関等、データの前処理） ・分析結果の可視化	
支援を受け改善又は解決された内容	デジタル前提の時代において、データと無関係な課はないということを入り口に、EBPMの重要性について、これまでの行政施策を振り返りながら、フットリールのある講演をしていただき、目的と	

(具体的にご記入下さい)	<p>について、これまでの行政施策を振り返りながら、ヘッドラインの目的を講義としていたため、目的を達成していた研修を実施することができた。</p> <p>研修の事後アンケートにおいても、回答者76人中、75人が「研修内容について理解できた」との回答が得られた。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>別添のとおり</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	効果的な政策立案や事業推進に必要なとされる統計データを用いた現状分析や効果検証に関する知識を習得し、統計データを適切に有効活用できる職員を育成し、各事業に活用する。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
 なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

The slide features a green background with white text. On the left, it identifies the speaker as 下山 紗代子 (Shimada Sayoko), a representative director of (一社)リンクデータ (Link Data Co., Ltd.), a regional information advisor from the Ministry of Internal Affairs and Communications, and a digital data specialist. The training is scheduled for August 30, 2022, from 10:00 to 12:00. The main title is '広島市統計利活用研修 政策形成におけるデータの利活用' (Hiroshima City Statistical Data Utilization Training: Data Utilization in Policy Formation). On the right, a small video inset shows a woman speaking, with a list of participants below it: 広島市 政策企画課 (Hiroshima City Policy Planning Section), 広島市 政策企画課 (Hiroshima City Policy Planning Section), 広島市公文書館... (Hiroshima City Public Records Office...), 広島市公文書館 椎木明史 (Hiroshima City Public Records Office, Akira Shiiki), 海田町 社会福祉社... (Umiya Town Social Welfare Association...), and 海田町 社会福祉課 近原 (Umiya Town Social Welfare Section, Kinohara).

はいこの政策形成におけるデータ利活用ということ

